

令和3年度職業能力開発論文コンクール「入賞者の声」

令和3年度職業能力開発論文コンクール特別賞（独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 理事長賞）に入賞された外村 文男氏が、コンクール事務局の質問に回答してくださいました。

入賞者の声：

Q 1. 普段はどのような業務に携わられていらっしゃいますか。

ポリテクカレッジで職業訓練指導員として専門課程（電子情報技術科）で主に電子系科目の指導にあたっています。また、在職者の方を対象に電子系のセミナーを行っています。

専門課程では卒業制作として総合制作実習を行っており、今回の論文で述べた電気自動車の製作を担当し、指導しております。

Q 2. 今回の論文はどの業務に活用して貰いたい（どういった方に読んでいただきたい）ですか。

類似の競技にチャレンジされている指導員、チャレンジしたいと考えられている指導員のかたはもちろん、どのようにすれば訓練効果のある実習課題となるのか疑問を持たれている指導員のかたに読んでいただければと思います。

Q 3. 今回の論文を作成する際に気を付けたことはございますか。

段階的な改善をどのように行ってきたのかをわかるように、また、あまり技術的な内容に偏りすぎないように心がけて作成を行いました。

Q 4. 今後の応募を検討されている方へのメッセージはございますか。

もともと論文を作成しようと思って実施してきたわけではなく、数年にわたって継続して実施してきたことが、一定の成果が得られるものとなったことから、今回、論文としてまとめてみようと思いました。また、このような論文作成の経験はあまりありませんでした。難しく考えることなく、日ごろの成果をまとめるような気軽な気持ちで応募されてみてはと思います。

Q 5. 今回の論文を執筆された心境やきっかけをお聞かせください。

Q 4の回答のとおり、数年にわたって継続して実施してきたことが、一定の成果が得られるものとなったことから、今回、論文としてまとめてみようと思いました。

Q 6. その他、今回の論文本体内に書けなかったことで追記したいこと等がございましたらどうぞ。

この度は、たいへん栄誉ある賞を賜り、本当にうれしく思っておりますとともに、身の引き締まる思いです。また、これからも様々な課題において、訓練方法や指導方法の改善に取り組み、訓練品質の向上に努めてまいりたいと思います。

ご回答いただきどうもありがとうございました。